

石の妖精と遊ぼう☆



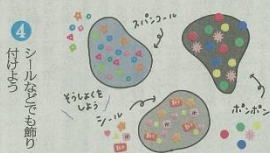
いろいろなしを
くみあわせて
いしのざねんも
つくって遊ぶ！



連載「アートイズと学ぶ 育てるアート」では、八戸市の現代芸術教室「アートイズ」の講師に、子どもがアートに触れる大切さや、保護者はどのようにして子どもの芸術活動を見守るべきかをアドバイスしてもらいます。 ※毎月第1水曜日掲載

準備するもの

- <材料>
 - ・目玉シール
 - ・アクリル絵の具
 - ・装飾アイテム(シール、スパンコール、マスキングテープ、ボンボンなど)
- <道具>
 - ・油性ペン
 - ・筆
 - ・パレット
 - ・筆洗バケツ
 - ・木工用接着剤
 - ・両面テープ



4 シールをのりでも貼り付けてみる。



5 目玉シールを貼って完成！



6 自分の好きな場所まで運んで行く。



1 身近な動物や石の模様をイメージして描く。



2 石の性質や色合いをイメージして描く。



3 絵の具やシールで模様をつけてみる。

作り方



身近な石で楽しめる石アート

見立ては子どもの得意技
夜空の星が閃き始め、ヨロイやシャム付きの石の形に似ているように、白いクッキーのように見える石の形に、赤や青、黄色の絵の具を塗って、石の形を表現する。石の形が丸いもの、角のあるもの、ひらぺたの形のものなど、いろいろな石の形がある。石の形を表現するだけでなく、石の質感や色合いも表現する。石の形を表現するだけでなく、石の質感や色合いも表現する。石の形を表現するだけでなく、石の質感や色合いも表現する。



佐貫巧（さぬき・たくみ）
1982年、静岡県生まれ。多摩美術大学、東京芸大大学院修了。現在、八戸学院大短期大学部幼児保育学科准教授。2014年より八戸圏域で現代芸術教室「アートイズ」を主宰し、アートを通して少しでも生きやすい世の中をつくらせたいと活動している。おいらせ町在住。

